

# 学校経営方針（平成 21 年度）

<目指す学校像>

## 子ども・保護者が満足する学校

<学校教育目標>

### 生き生き にこにこ 国津っ子

<めざす子ども像>

・進んで取り組む子  
（自主性、積極性、実行力）

・仲よくできる子  
（思いやり、協力、信頼、人権尊重）

・素直で明るい子  
（明朗、誠実、健康）

<重点目標>

#### 経 営

- ◎児童・教職員・保護者、相互の心のふれあいを深め、明るく生き生きとした温かく楽しい学校経営・学級経営に努める。その結果、児童・保護者が学校に行きたいと思う、教職員とつながろうと考える割合が 80%になることを目指す。
- ◎地域・家庭との連携を深め、特認校として特色のある学校づくりをいっそう推進し、本校の取り組みを人に紹介したい、自慢できるという人の割合が 80%を目指す。その方策として地域の教育力を毎学期学年に応じて活用し、地域の「ひと・もの・こと」を生かした、特色ある教育活動を創造・推進する。

#### 指 導

- ◎平成 20 年度に実施した児童・保護者アンケートの結果、悩みや相談に親身に対応すること、わかる授業を創造することが弱みとなっている。どの学級でも 80%の満足度を目指す。そのための具体的な手立てとして
  - ・一人ひとりの職員が、複式授業についての研修を先進校に学びながら工夫し、教材研究を深めるとともに、校内での授業研究を活発にする。
  - ・子ども一人ひとりを見つめ、主観に頼らず、肯定的に受け止めることを基本に、保護者と協働して、子どものために必要なことを相互交流する。

<努力事項>

#### 【経営】

- 基礎的・基本的事項を明確に把握するとともに、個性を重視し、一人ひとりの能力や適正等に対応できるきめ細やかな教育を進める。
- 災害・不審者などから生命を守る危機管理および情報管理の徹底を図る。
- 学校経営品質向上のため、PDCAサイクルを活用し、具体的な改善策に全職員で取り組む。

#### 【指導】

- 体験的な活動を中心に、自分で考え判断し、積極的に実行する態度を育てる。
- お互いを尊重し、個々のコミュニケーション力を高め、役割を自覚し、最後まで粘り強く責任を果たそうとする集団の育成に努める。
- ALTとの連携による英語活動をいっそう推進し、国際理解教育を深める。
- 保健・安全（危機管理）・給食指導の充実に努め、体力の向上と、健康な生活の基礎を培う。

#### 【研修】

- 確かな学力の定着・向上を目指して、効果をあげるための方法や手立てについて、創意工夫をする。
- 体験活動を中心として、主体的実践力をつけるための支援・指導の研修を進める。
- 少人数学級のよさを生かした教育及び複式の授業研究と実践に積極的に取り組む。